

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社宮崎銀行（証券コード: 8393）

【据置】

| | |
|---------|-----|
| 長期発行体格付 | A |
| 格付の見通し | 安定的 |

■格付事由

- 宮崎県を主要地盤とする資金量約3兆円の地方銀行。宮崎県内で4割超の預貸金シェアを有するほか、鹿児島県も地元と位置付けて貸出金を伸ばしている。格付は強固な営業基盤、良好な貸出資産の質、安定した収益力、相応の資本水準などを反映している。足元では金利上昇による調達費用の増加が収支の下押し要因となっているものの、収益力を維持しつつ、現状程度のコア資本比率を確保できると JCR は考えている。
- 住宅ローンを地元で伸ばし貸出金利息の増加が続いていることや、役員取引等収益が順調に拡大していることが当行の収益力を支えている。22/3 期、23/3 期のコア業務純益（投資信託の解約益を除く）は、貸出金利息や有価証券利息配当金、預かり資産販売など手数料収入の増加により、130 億円程度と従前よりも高い水準となった。24/3 期第 3 四半期（累計）のコア業務純益は、外貨金利の高止まりによる外貨調達費用の増加などをうけ、前年同期をやや下回っている。システム投資にかかるコスト拡大などもありコア業務純益は若干減少するものの、貸出金利息の増加などにより比較的高い水準で推移していくと JCR はみている。住宅ローン残高が順調に拡大する一方、中小企業向け貸出の伸びには鈍化がみられる。グループ総合力の発揮によるコンサルティング営業の実践などが、地元企業の資金需要の取り込みにつながっていくかに注目していく。
- 貸出資産の健全性は維持されている。23 年 12 月末の金融再生法開示債権比率は 1.44% と良好な水準にある。金利上昇や物価高騰の影響など、不透明な外部環境の動向に留意する必要があるものの、与信費用はコア業務純益で十分吸収可能な程度にとどまるとみている。有価証券運用において、リスク削減を進めた結果、金利リスク量、価格変動のリスク量は資本対比で大きくない。また低利な外貨建債券の売却を進めたこともあって、その他有価証券全体では評価益の状態となっている。
- 23 年 9 月末の調整後連結コア資本比率（貸倒引当金などを控除）は 8% 台後半と格付「A」の地域金融機関相応の水準にある。利益の蓄積が進んでいることに加え、貸出残高の増加ペースが鈍化しておりリスクアセットの増加も抑制されるとみられることから、現状程度のコア資本比率を確保できると JCR は考えている。

（担当）阪口 健吾・阿知波 聖人

■格付対象

発行体：株式会社宮崎銀行

【据置】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|---------|----|-----|
| 長期発行体格付 | A | 安定的 |

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年2月28日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：阪口 健吾
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「銀行等」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社宮崎銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル